

通巻2号 2014年(平成26年)5月28日発行 発行所/一般社団法人タスクフォース21事務局 <http://www.taskforce-21.com> ©会員限定頒布・禁無断転載◎
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場2-14-6 アライビル7階 株式会社ノラ・コミュニケーションズ内 tel. 03-3204-9401 fax. 03-3204-9402 info@noracom.co.jp



電力・都市ガスの制度改革の議論が進んでいます。これらの改革=自由化が、本会の主力メンバーであるLPガス販売事業者にどのような影響を与えるのか、それを検討することを本会例会の大きなテーマとしています。本会では10年以上前の制度改革議論においても、さまざまな情報収集を行いました。当時から、この問題に関わっておられた識者の方々には、今回もまた講師として登壇いただき、最新情報のご提供をいただいています。

一般的に、企業にとって「自由化」は、その業界の既得権益がなくなることで新規参入がしやすくなり、多くの企業がビジネスチャンスを得られるとされています。しかし一方で、競争原理は強者をより強くし、弱者の事業を圧迫するとも言われています。都市ガス業界の自由化論議では、自由化のメリットを享受しようとする大手都市ガス会社の思惑と、既得権がなくなりかねない中小都市ガスの抵抗などが伝えられています。

ガス体エネルギーの制度改革は、都市ガスと簡易ガス、そしてLPガスの垣根を低くする、あるいは取り払うものとも考えられています。都市ガスの公益特権を羨ましく考えていたLPガス業界ではありますが、いざ、垣根のない競争にさらされたとき、決して強者ではないLPガス事業者は苦戦が予想されます。そして、LPガスを含めた一体改革の議論では、「料金の透明化」も大きなテーマとして取り上げられています。

LPガスの料金問題も、本会設立時からの大きなテーマの一つでした。制度改革の方向はまだ不明点もありますが、料金問題はLPガス事業者の経営問題として、これまで以上に、具体的な改革議論が必要となってきます。前回104回例会では、料金公開を断行したカナエル・関口剛社長に講演を依頼しました。会場に60名を超える聴講者が詰めかけたのも、そのような業界人の“受けとめ”を表わしていると言えるでしょう。 【事務局・中川順一】

講演要旨の掲載にご理解・ご協力をいただいた講師の先生方に感謝申し上げます。

例会報告

- 第104回例会
講演、プレゼンテーションの概要は本号掲載の講演要旨の通りです。
2014年4月8日 アキバプラザ 出席者60名

INDEX

【第104回例会講演要旨】	
講演①	2
「制度改革の進むエネルギー業界の中で LPガス業界に求められる新たなビジネスモデル」	
講師：東洋大学大学院経営学研究科 教授 石井 晴夫氏	
講演②	10
「選ばれるLPガスエネルギーを目指して ～LPガスの発展と消費者のために～」	
講師：株式会社カナエル 代表取締役社長 関口 剛氏	
プレゼンテーション	17
「専門家・資格者の活用と『T・L・A』の活動について」	
発表：半蔵門法律事務所 弁護士 野崎 修氏/菊地 康太氏	
【会員発表】	
株式会社パロマ パロマフェア2014についてご案内	21
【幹事会報告】	22
【第104回例会アンケート】	22
【過去の講演から(抜粋)】	23
第100回例会(2013年7月)講演より LPガス・エネルギー産業の現状と今後の展望	
講師：株式会社伊藤リサーチ・アンド・アドバイザーズ 代表取締役 兼 アナリスト 伊藤 敏憲氏	
【業界ニュースダイジェスト】	30
【活動案内・会員募集】	31
【次回案内・参加申込】	32